



ふるさとの“いま”と“これから”
～大宮高校生の活躍とサポートの環づくり～

日本大学生産工学部 環境安全工学科

永村景子

“ふるさと”に、戻ってますか??

来場者アンケート結果



プロローグ

ご存知ですか？ ふるさとの“今”

曾木の滝の上にあった、橋が無くなったこと。



鶴田ダムに沈んだ幻の発電所が、再び姿を現したこと。



東洋一を誇る規模のビオトープがあること。



グッドデザイン賞特別賞を受賞した土木構造物があること。



GOOD DESIGN AWARD 2012

SUSTAINABLE
DESIGN AWARD

曾木の滝分水路



地域の人たちを元気づける高校生ダンスチームがあること。



この風景が無くなるのは寂しい、と行動を起こす高校生がいること。

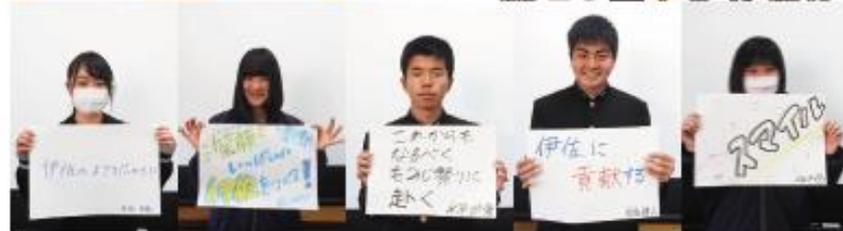


本日の話題は、そんな大口高校生の「思い」と「行動」のお話です。



2017年度メンバーに訊きました

これから先の未来にいつ、どのように伊佐と関わられますか？
そのために何が必要ですか？



**きっかけは、
平成18年7月 豪雨災害。**

平成18年7月 鹿児島県 川内川流域で記録的豪雨災害



平成18年7月 鹿児島県 川内川流域で記録的豪雨災害



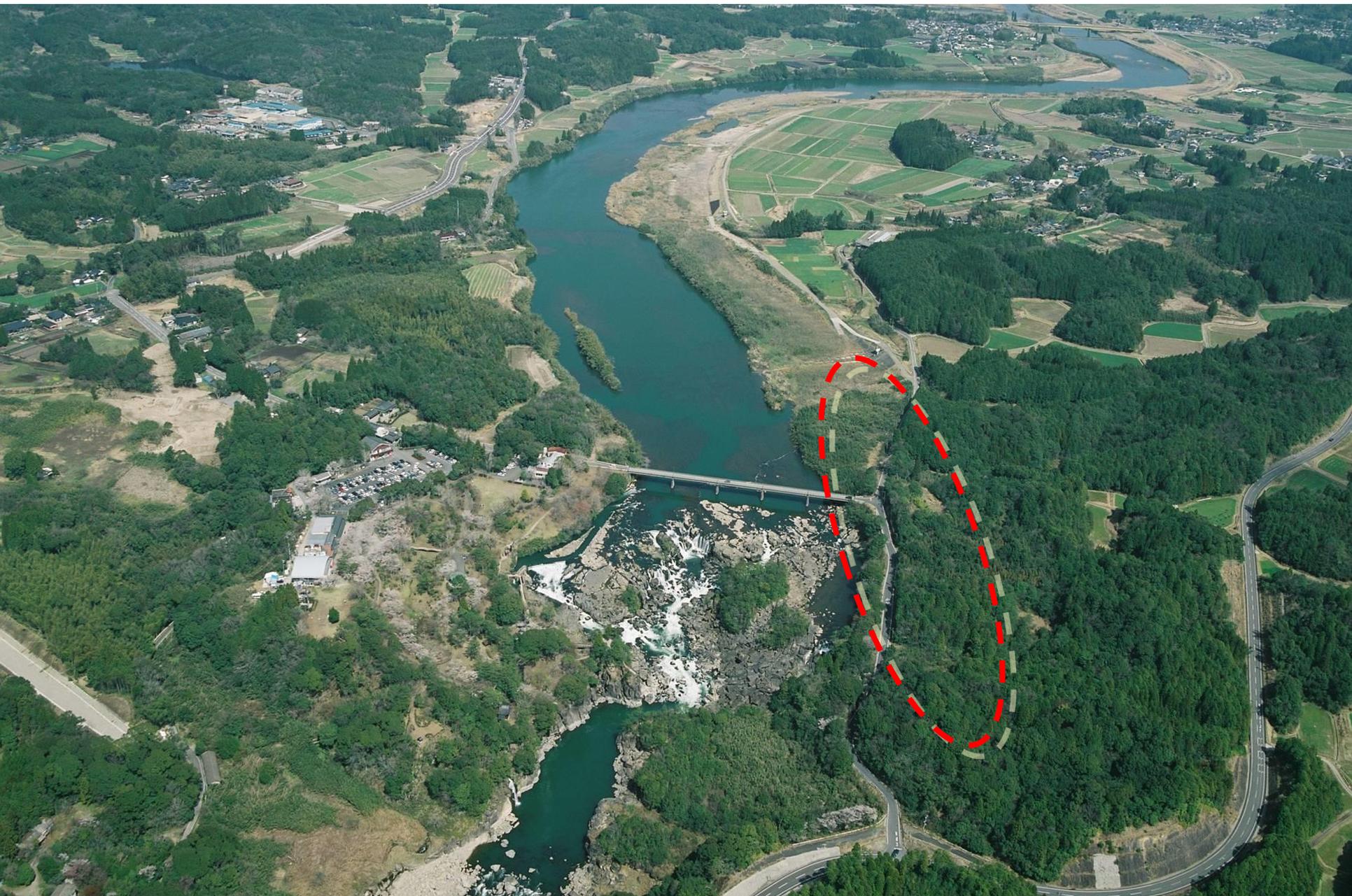
平成18年7月 鹿児島県 川内川流域で記録的豪雨災害



平成18年7月 鹿児島県 川内川流域で記録的豪雨災害



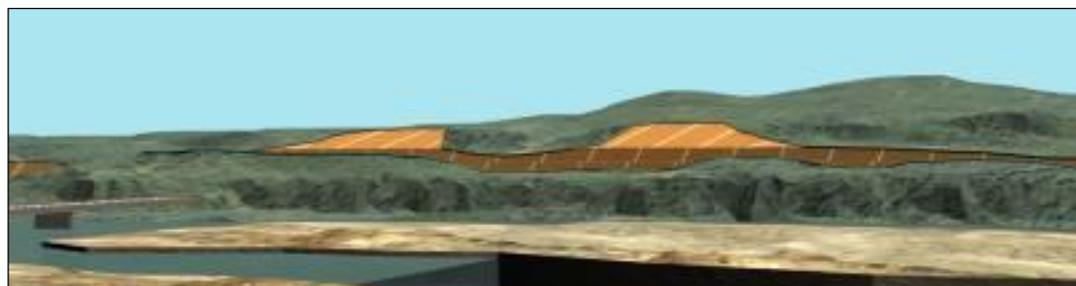
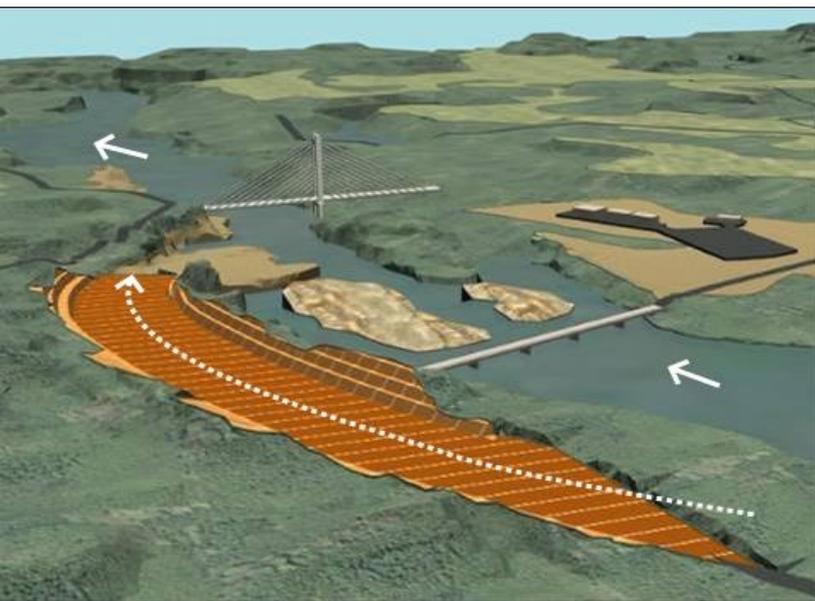
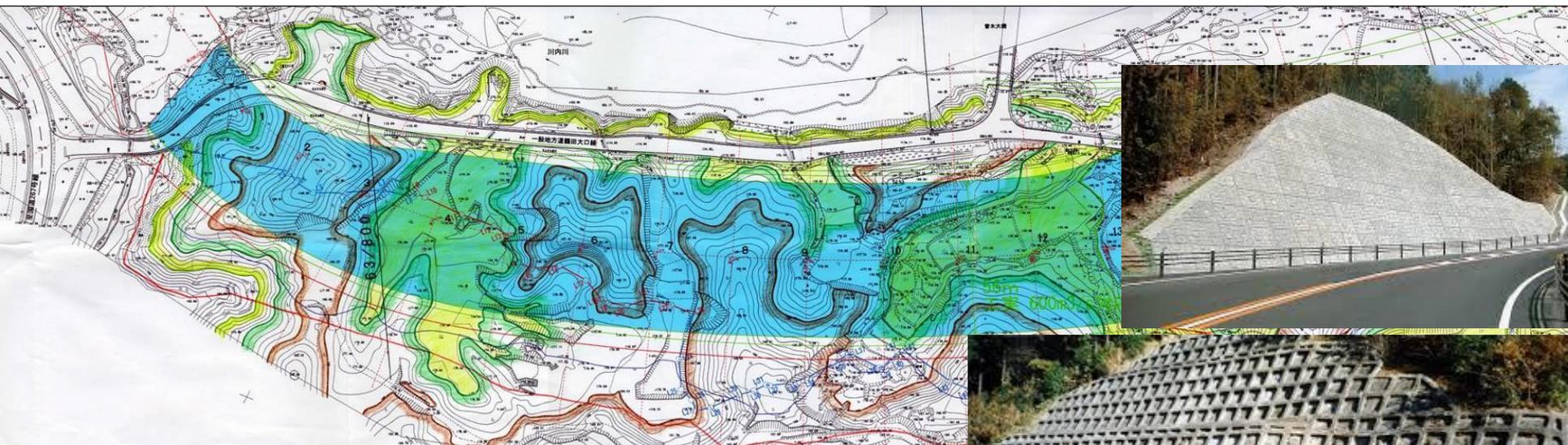
分水路整備前 (H18.3)



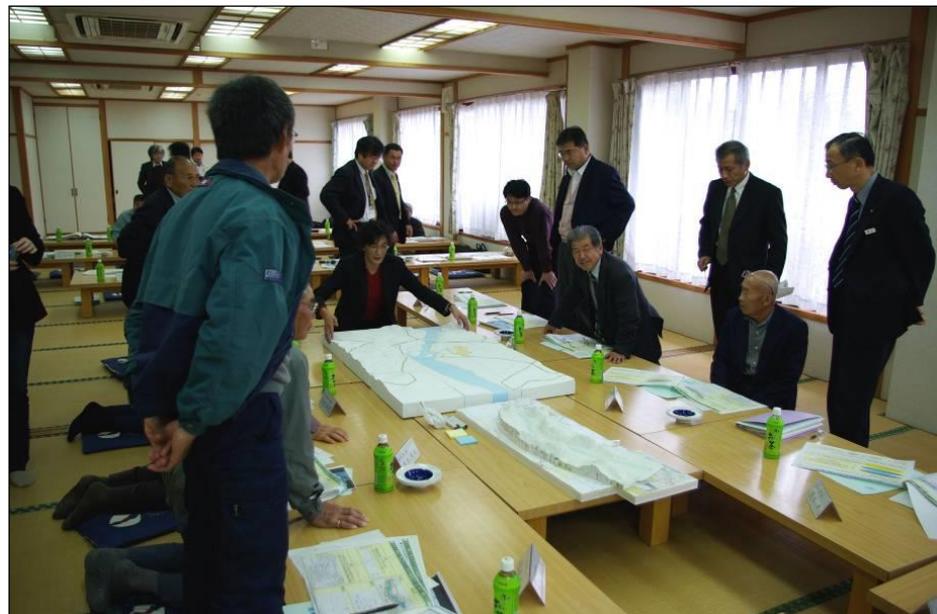
分水路整備後 (H23.3)



将来計画案（平成元年策定）



景勝地にふさわしい分水路の整備検討





GOOD DESIGN AWARD 2012

**SUSTAINABLE
DESIGN AWARD**

曾木の滝分水路



曾木大橋の世代交代。曾木の滝周辺、色々あるけど…

曾木発電所遺構
保存修理 2007



あったらし村(ビオトープ)整備
2010



新曾木大橋開通
2011



曾木の滝分水路
完成 2011



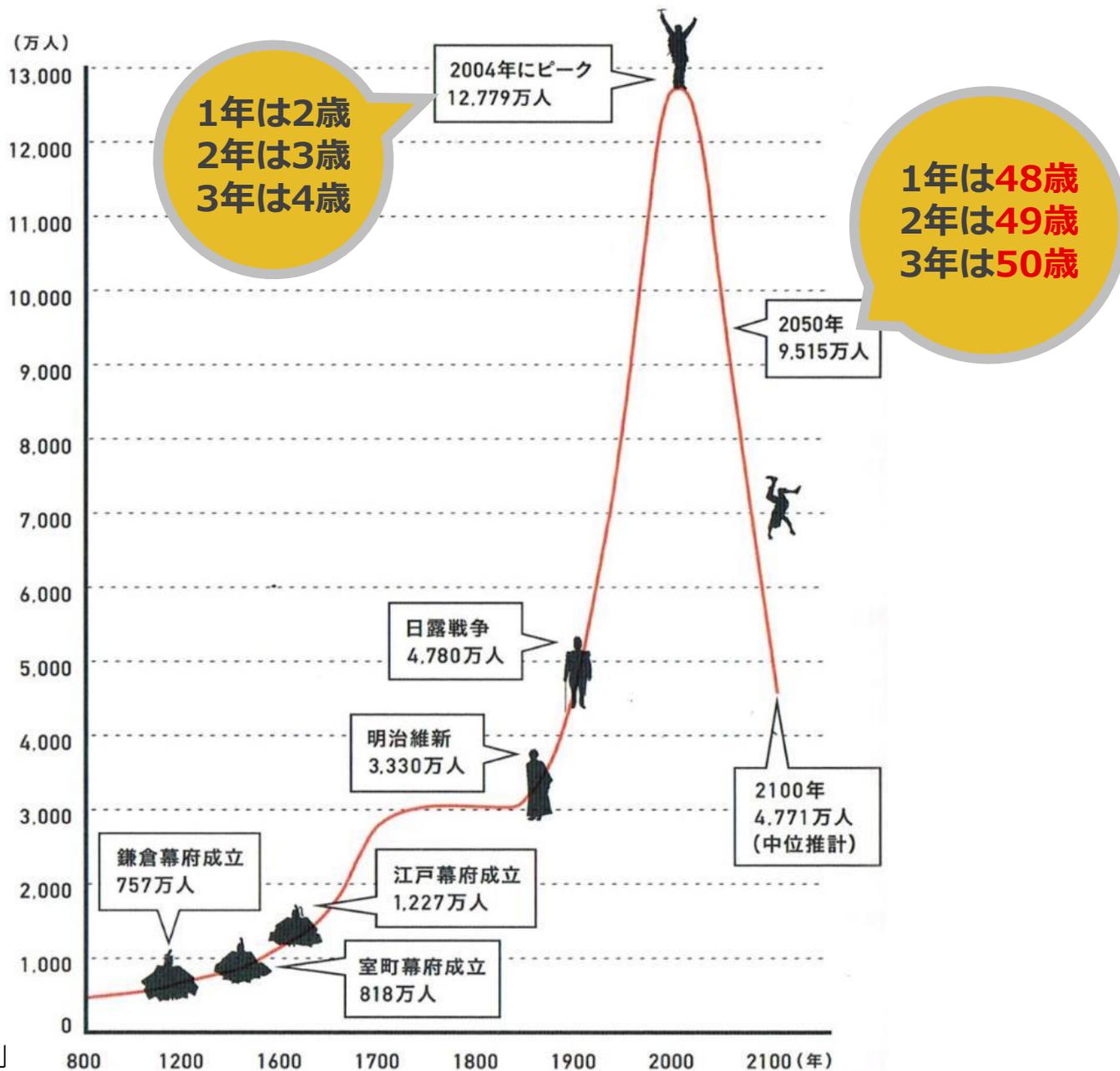
地域を見つめなおす、「曾木はっけんウォーキング」(2011-)

ウォーキング



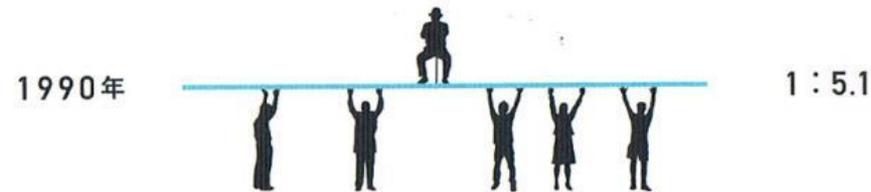
一足先に迫る少子高齢化社会

避けられない日本の人口減少・少子高齢化

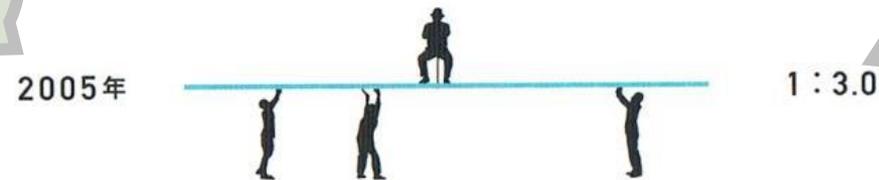


引用: 笈裕介監修
「地域を変えるデザイン」

避けられない日本の人口減少・少子高齢化



ちなみに
永村は
大学卒業



1年は3歳
2年は4歳
3年は5歳

1年は18歳
2年は19歳
3年は20歳



引用: 笈裕介監修
「地域を変えるデザイン」

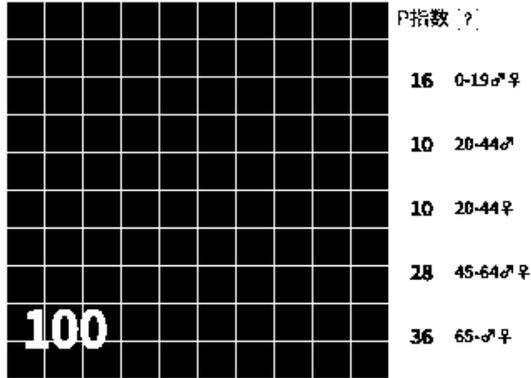


伊佐市の人口予測

人口減少 × デザイン 鹿兒島県 伊佐市

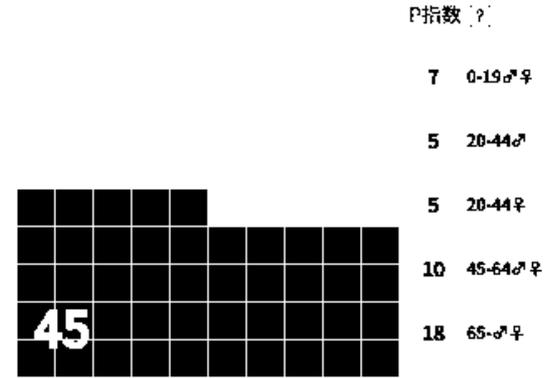
地域と日本の人間関係、データとデザイン思考で考える。

2010



合計約29,000人

2060

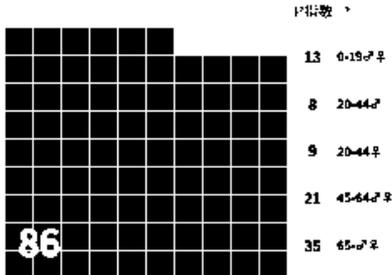


合計約13,000人



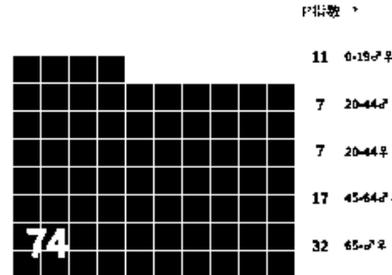
結果をシェアする

2020



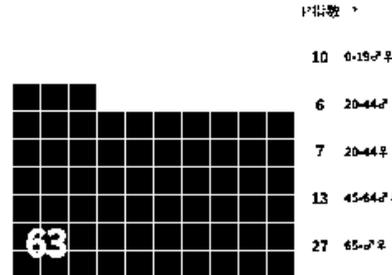
合計約25,000人

2030



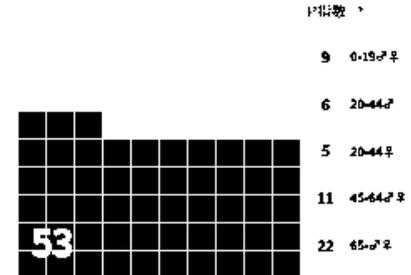
合計約22,000人

2040



合計約18,000人

2050



合計約16,000人

↑
CLOSE



高校生世代の伊佐市離れ



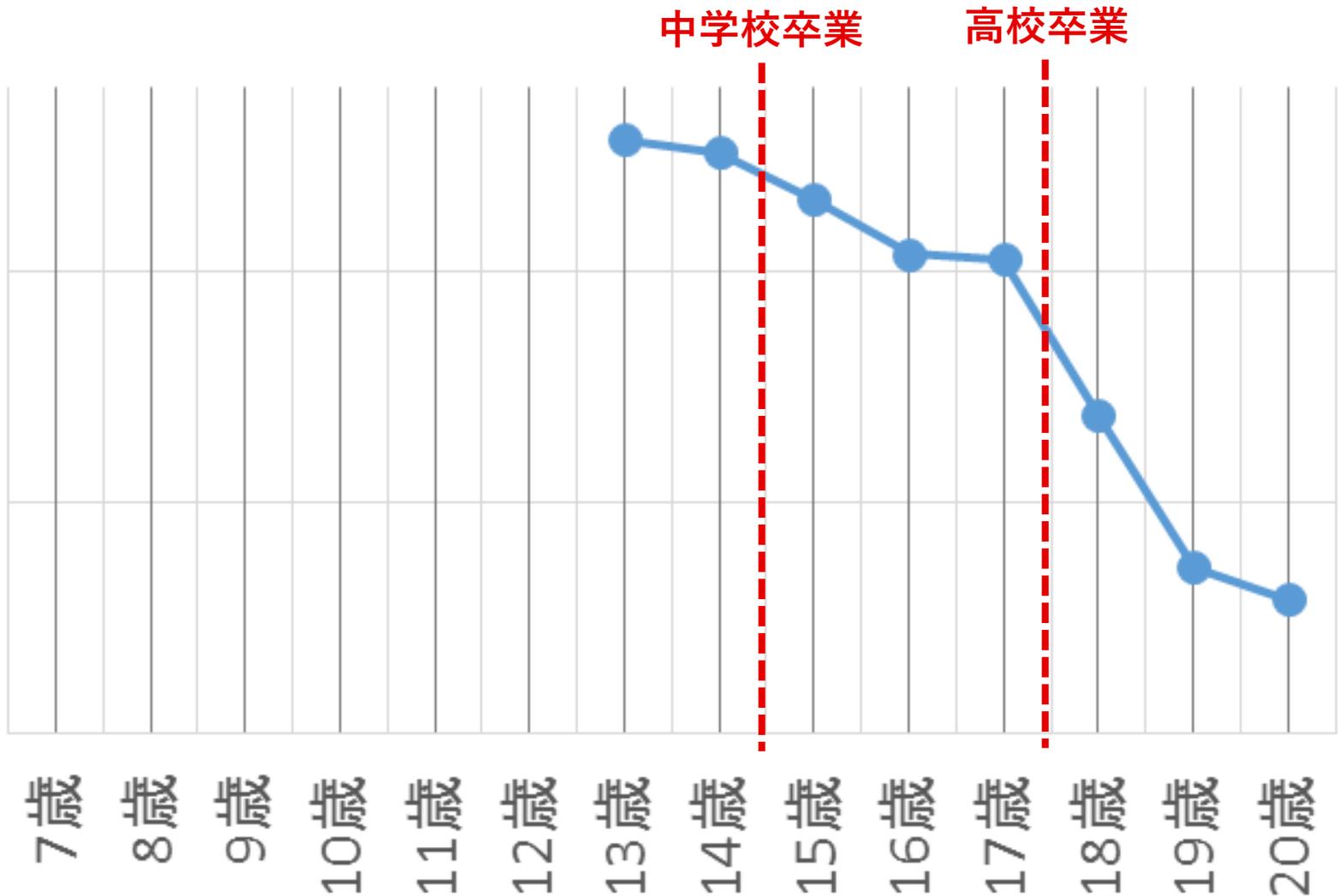
平成28年度に
20歳だった世代の人口

(人)

240

190

140



7歳

8歳

9歳

10歳

11歳

12歳

13歳

14歳

15歳

16歳

17歳

18歳

19歳

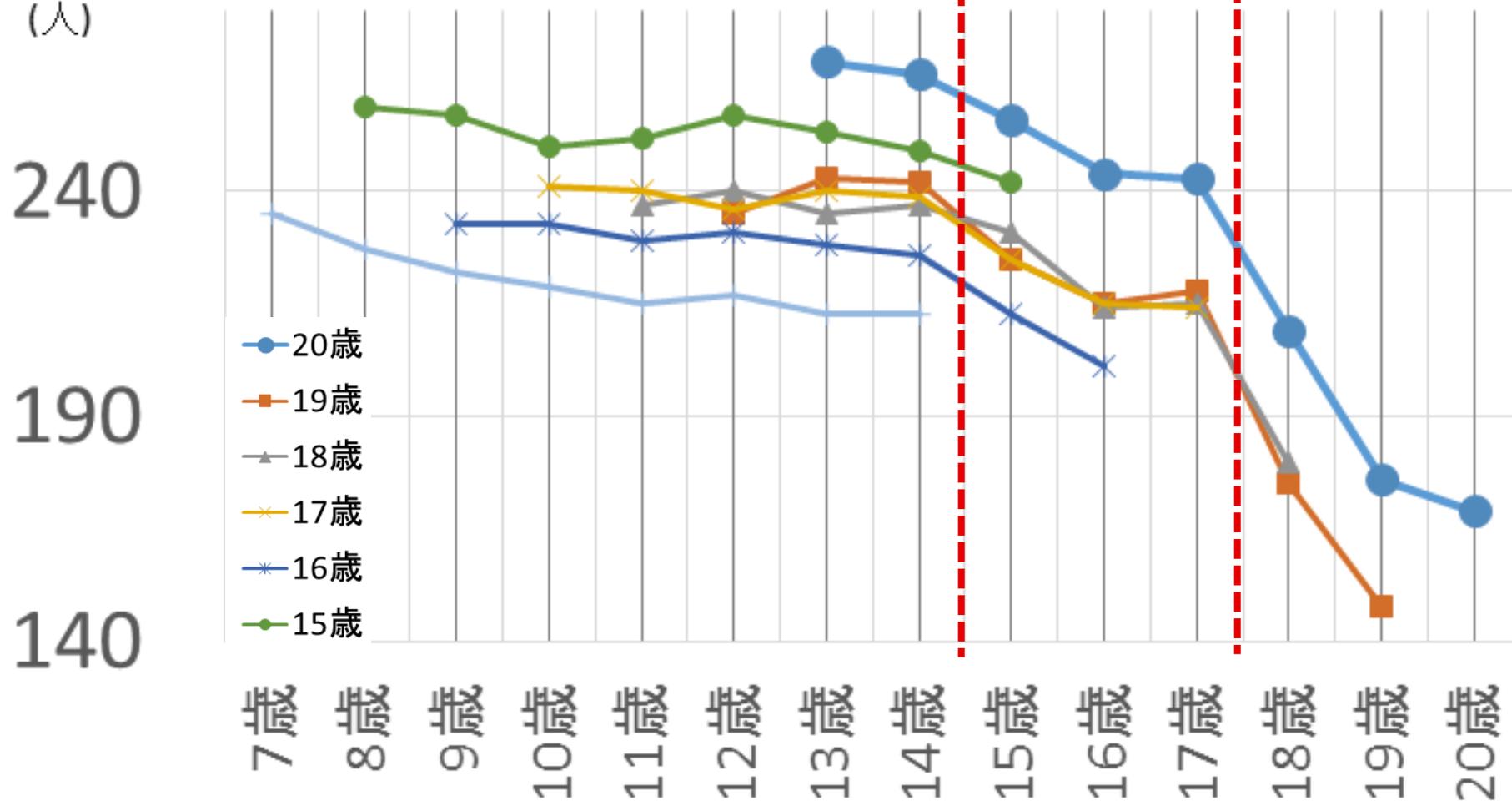
20歳

高校生世代の伊佐市離れ



平成28年度に
XX歳だった世代の人口

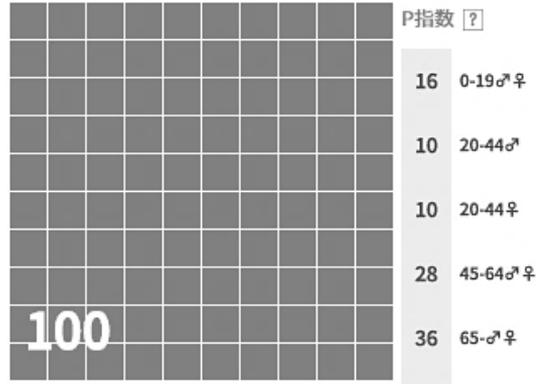
(人)



伊佐市の人口予測

人口減少 × デザイン 鹿児島県 伊佐市
 地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える。

2010



人口減少対策

合計特殊出生率を [?]



にする

転入者数（年間）を [?]



増やす

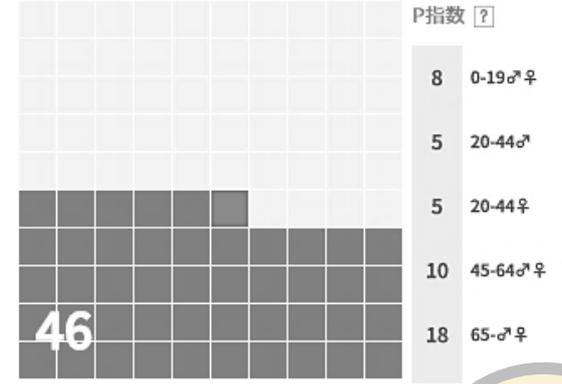
転出者数（年間）を [?]



減らす

年間
転出者を
4人減らす

2060



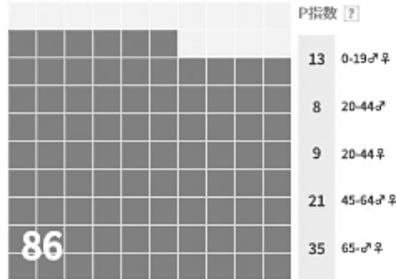
参考（2014年実績値）
 転入者数（20-49歳）457人
 転出者数（15-24歳）425人
 人口減少対策前に戻す

合計 約13,000人 → 14,000人

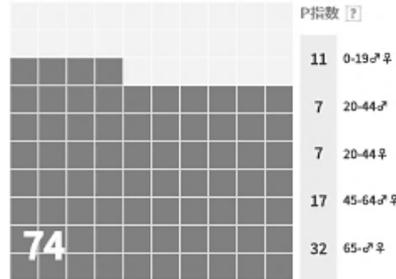
結果をシェアする [f](#) [t](#)

2060年の
人口は
1,000人up

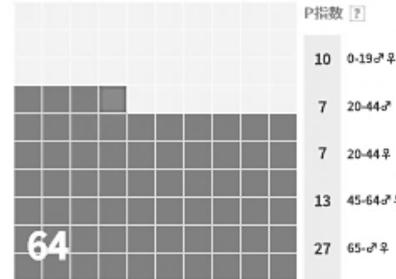
2020



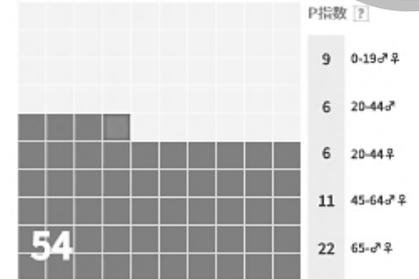
2030



2040



2050



↑
CLOSE



**活躍を始めた、
伊佐市の高校生。**

目覚ましい活躍を遂げる伊佐農林高校「地域応援団」

伊佐農林高校地域応援団プロデュース！

伊佐新米祭り

inドルフィンボート



→いさやさい←



曾木の滝の風景から橋が消える…曾木の滝の一大事!



第3回曾木はっけんウォーキング「さいなら曾木大橋」

2014年「第3回 曾木はっけんウォーキング」

前日準備・ウォーキング / 2014.10.04-05

Start 大学生とともにルートを踏査しました。曾木の滝分水路は初めに目にした風景でした。



第1回ワークショップ / 2014.09.13

02 翌日のおもてなしに向けて、前日準備には、過去最高の98名が参加しました。



前日準備 / 2014.10.04

03 台風による雨にも負けず、参加者が安全に楽しめるよう、笑顔のおもてなしに努めました。



ウォーキング / 2014.10.05

Sep. Start 01 Oct. 02 03 Nov. Goal

第2回ワークショップ / 2014.09.23-24 振り返り / 2014.11.13

01 どんなおもてなしで参加者を楽ませるか、どんな風に曾木大橋を労うか、アイデアを出し合い、企画を練り上げました。




Goal ウォーキング大会のおもてなしをふまえ、曾木の滝周辺を歩いて楽しめる場所にすべく、ウォーキングマップを作成しました。






主催NPOからお声掛けいただいて編成した、大学チーム。



大口高校生の企画を大学生チームがアシスト。



大口高校生の知恵で、曾木大橋お別れイベントを盛り上げよう!



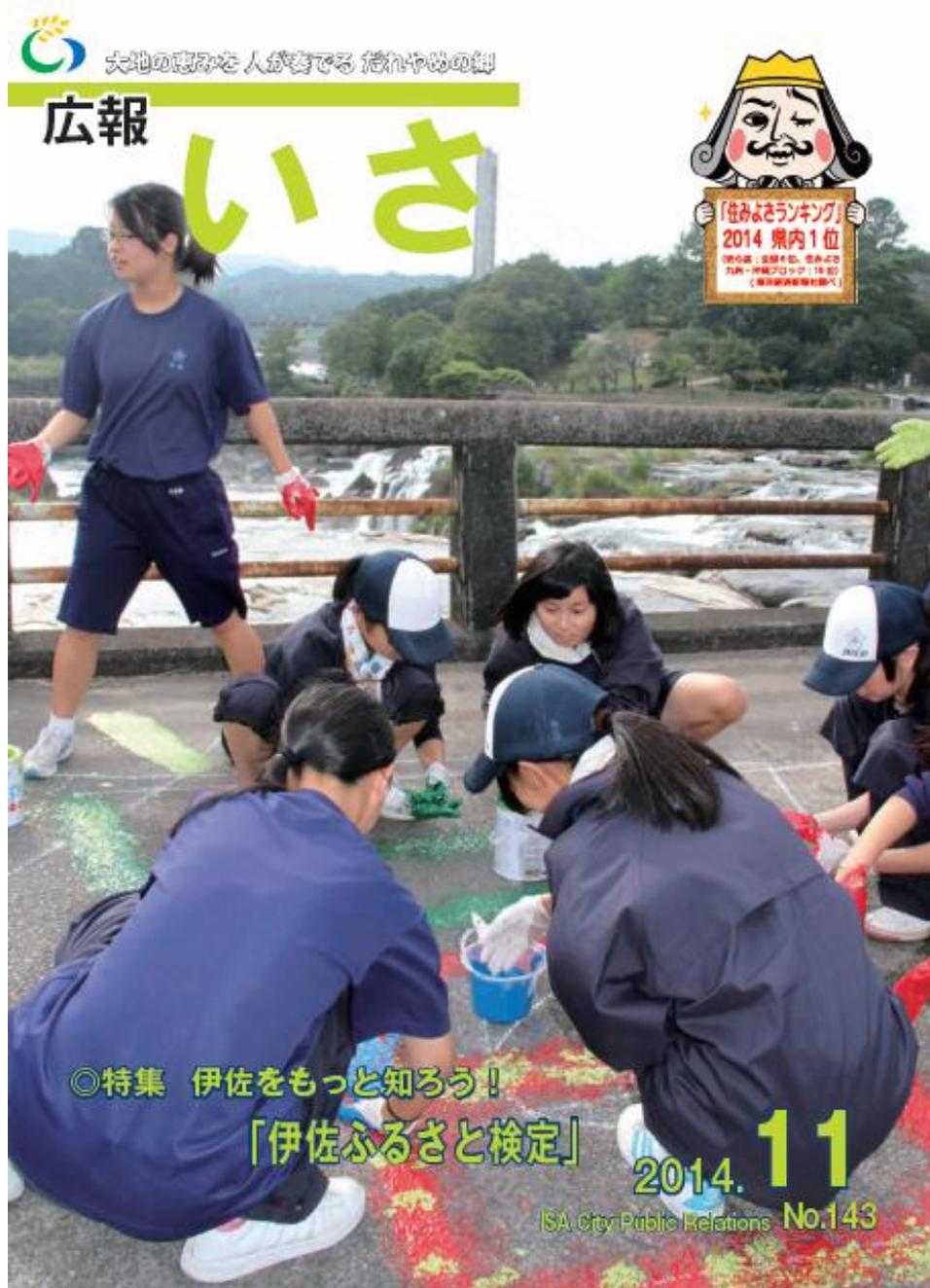
台風襲来にも負けず、雨天決行!



好奇心と地元への愛着の目覚め、大口高校生の鮮烈デビュー。



やるじゃん、大宮高校生!!



**活躍の場の移行、
もみじ祭りをプロデュース。**

毎年恒例、もみじ祭り。ただ少し、マンネリ化…。



大口高校生にプロデュースさせてみよう!



既存のもみじ祭りの課題を克服、「参加型」もみじ祭りへ。



「若い子たちが頑張ってくれて、うれしいねえ～」



「小さい子どもも、退屈しなかった!!」



地域の中で、存在感を強める大口高校生。



訪れる転機、 悩まされた天気。

教頭先生の異動、熊本地震の発生。永村は転職。

偶然が重なって始まった、大口高校と日本大学永村研究室の連携。



大口高校×日本大学 地域活性化プロジェクト2016

頼もしい2年生。先輩に憧れて加わった1年生。



進まずに悩んだり、泣いたりしながら、準備したもみじ祭り。

2016年「第55回もみじ祭り」

Start Kick Off は、昨年度までの説明した後、今年度どのような企画をやりたいかを考えました。



Kick Off /2016.07.08

02 現地調査で撮影した写真を使用したPR大会を高校生VS大学生を行いました。その後、Kick Offと現地調査をふまえ、5つの班に分かれて、企画の検討を始めました。



第1回企画会議 /2016.08.23

03 2回目の会議では、各班の進捗確認、各企画同士で協力できること、一緒に考えたほうが良いことを確認しました。



第2回企画会議 /2016.10.09

05 本書だったのですが、前日の夜から雨が降り出し、祭りは晴天中止となりました。しかし、アート班とFOOD班は他の班の生徒の助けをもらいながら実行しました。



**第55回もみじ祭り
2016.11.26-27**



01 現地探索 /2016.08.22



もみじ祭りが行われる曾木の滝周辺の曾木の滝公園、曾木の滝分水路、曾木第2発電所遺構の3ヶ所をバスごとに分かれて現地探索を行いました。とても気温が高く、笑顔が消えていることもありましたが、新たな発見がありました。大学間と一緒に行う予定でしたが、関東が台風の影響で飛行機が欠航となり新幹線を使用したため、高校側のみで行いました。

04 本書前の最後の企画会議では、各班の進捗状況を確認し、祭りに必要な準備や具体的なスケジュールの最終確認をしました。



第3回企画会議 /2016.10.29

反省会 /2017.02.11



Kick Offからもみじ祭り本書まで、いつ、どんな話し合いをして、どんな風に進めたか、「もみじ祭り虎の巻」を作りました。

Goal

前夜からの大雨。雨天中止の決定。



雨でも販売決行「おにぎらず」。



「仲間の企画を支えよう!」 雨の中、集まった他チーム生の活躍。



**再びの転機と悩ましい天気、
「今年こそ!」、大人の英断。**

校長先生の交代、新たな展開「大学の模擬授業」でメンバー募集。



嬉しい悲鳴、過去最大の参加生徒数。会議スペースが足りない…



鹿児島と千葉、コミュニケーションの機会を増やそう!



そして迎えた本番は、またしても雨天。今年は決行!



「やって良かった…」 高校生以上に感極まる大人達。



大口高校生を支える大人達

もみじ祭りの運営を支える「伊佐市観光特産協会」



2015、2016、2017年度のFOOD班、LS班を支えた「食のプロ」



橋脇 風月堂



きっかけづくりとバックアップ「NPO法人バイマワークあったらし会」



高校生の傍らで支える「先生方」



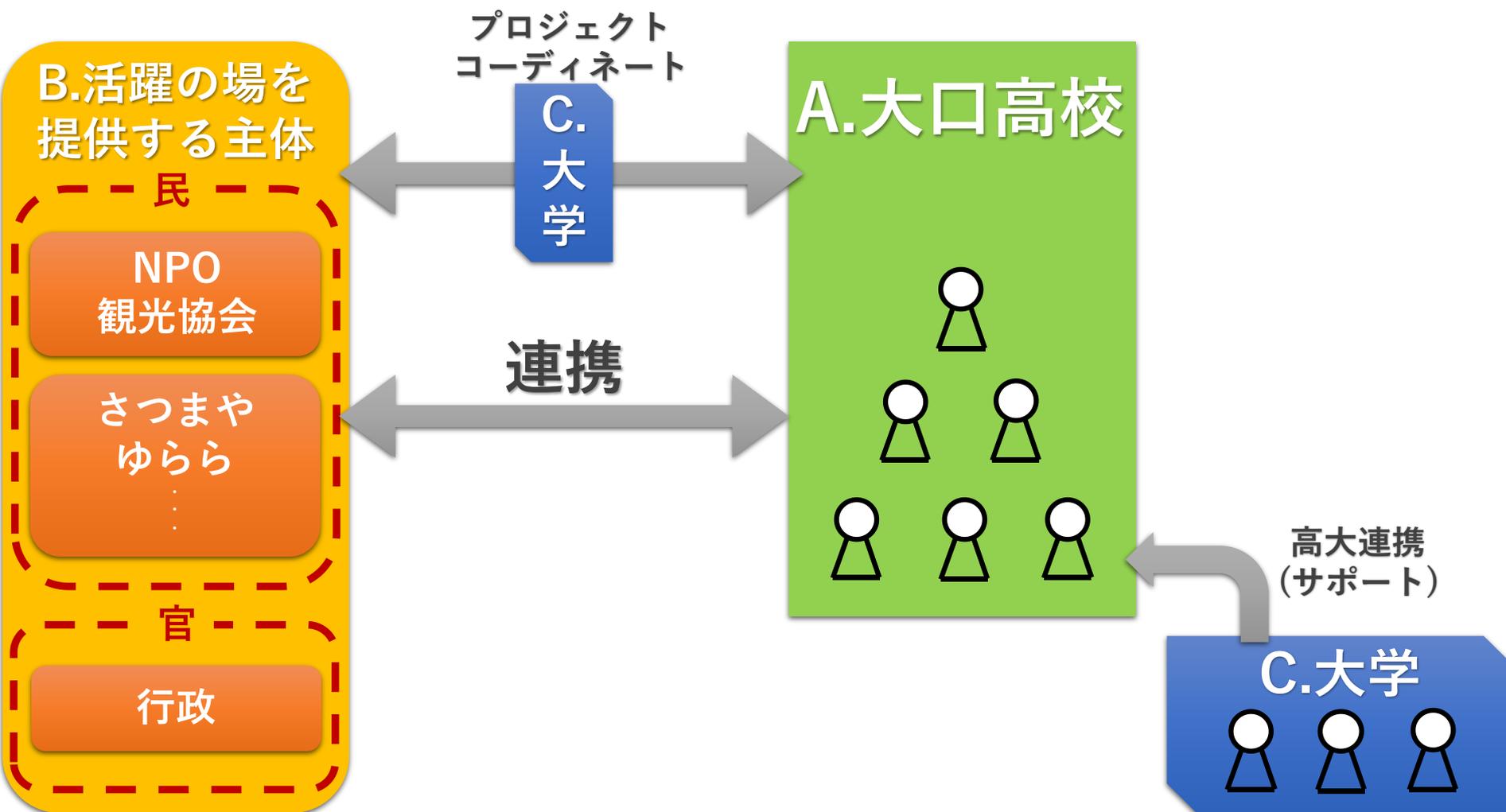
2016年3月 伊佐農林高校「地域応援団」10年の節目の活動終了



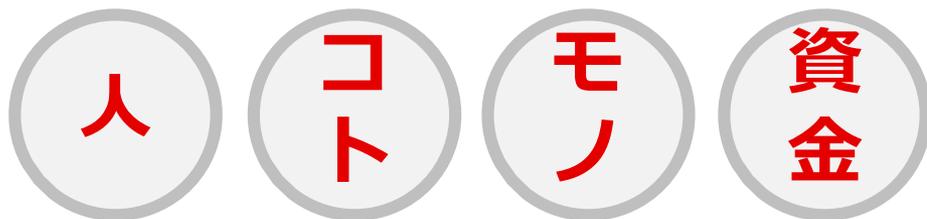
大口高校生の取組み、
伊佐市で継続・展開していくには…???

持続可能な取り組みに向けて… サポートの環づくり

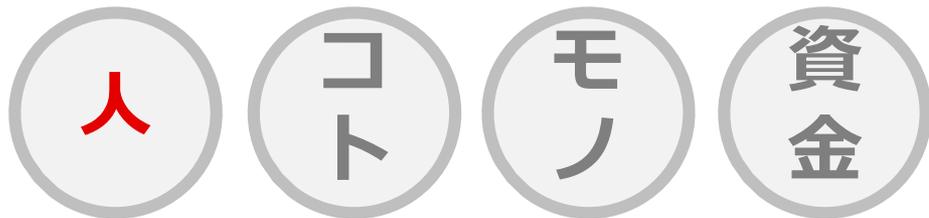
「高校×大学」 やや特殊な取組み体制



4大経営資源から考える、新たな展開の可能性と課題



4大経営資源から考える、新たな展開の可能性と課題



伊佐もりあげ隊 メンバー紹介



プロジェクトOBインタビュー

山下 真芳 さん



経歴

2016 年度 大口高校卒業

現 在 伊佐市役所 PR 課



小門 真也
2017 年度卒
法政大学

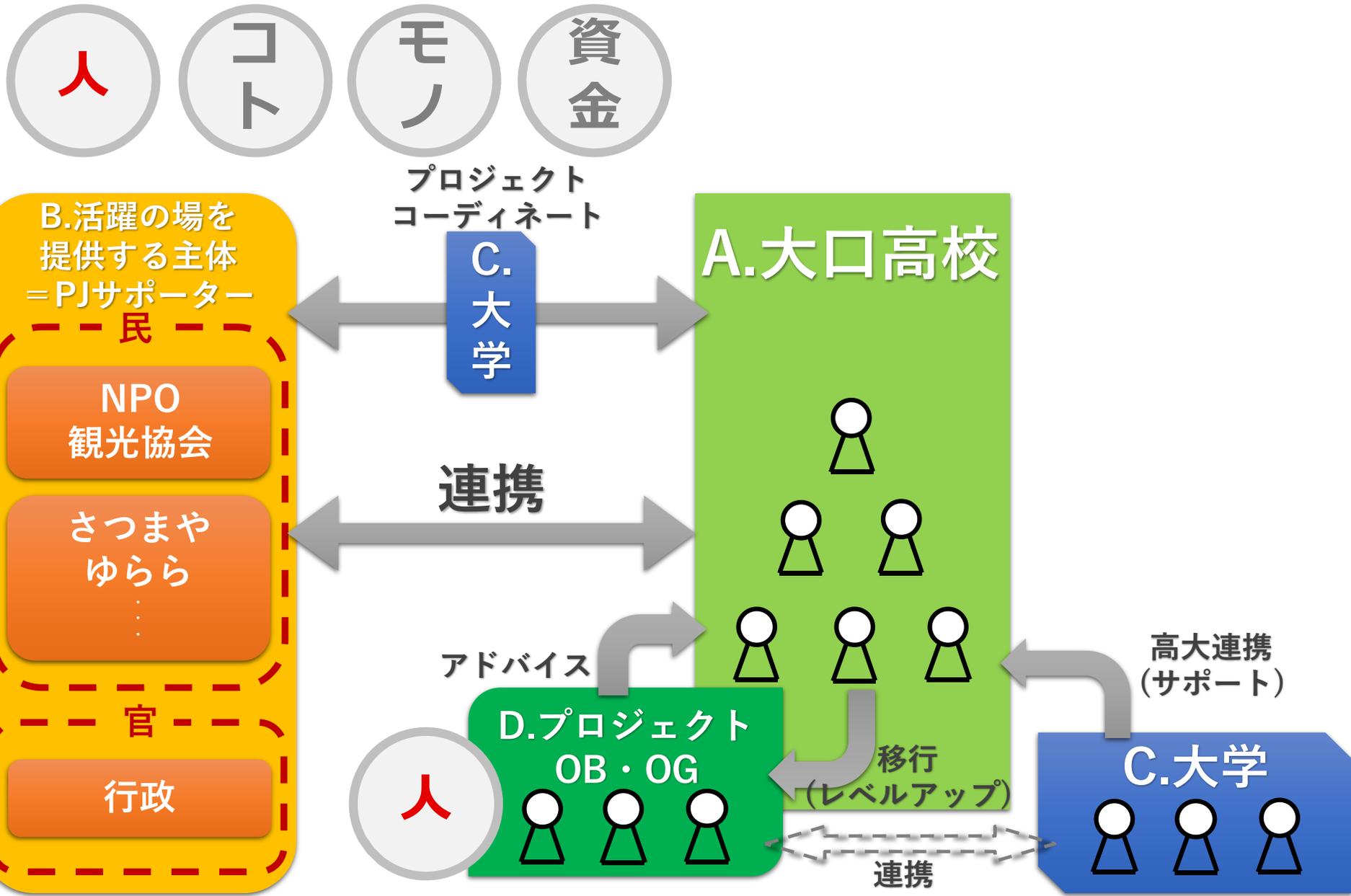


千鳥 恋
2017 年度卒
伊佐市役所

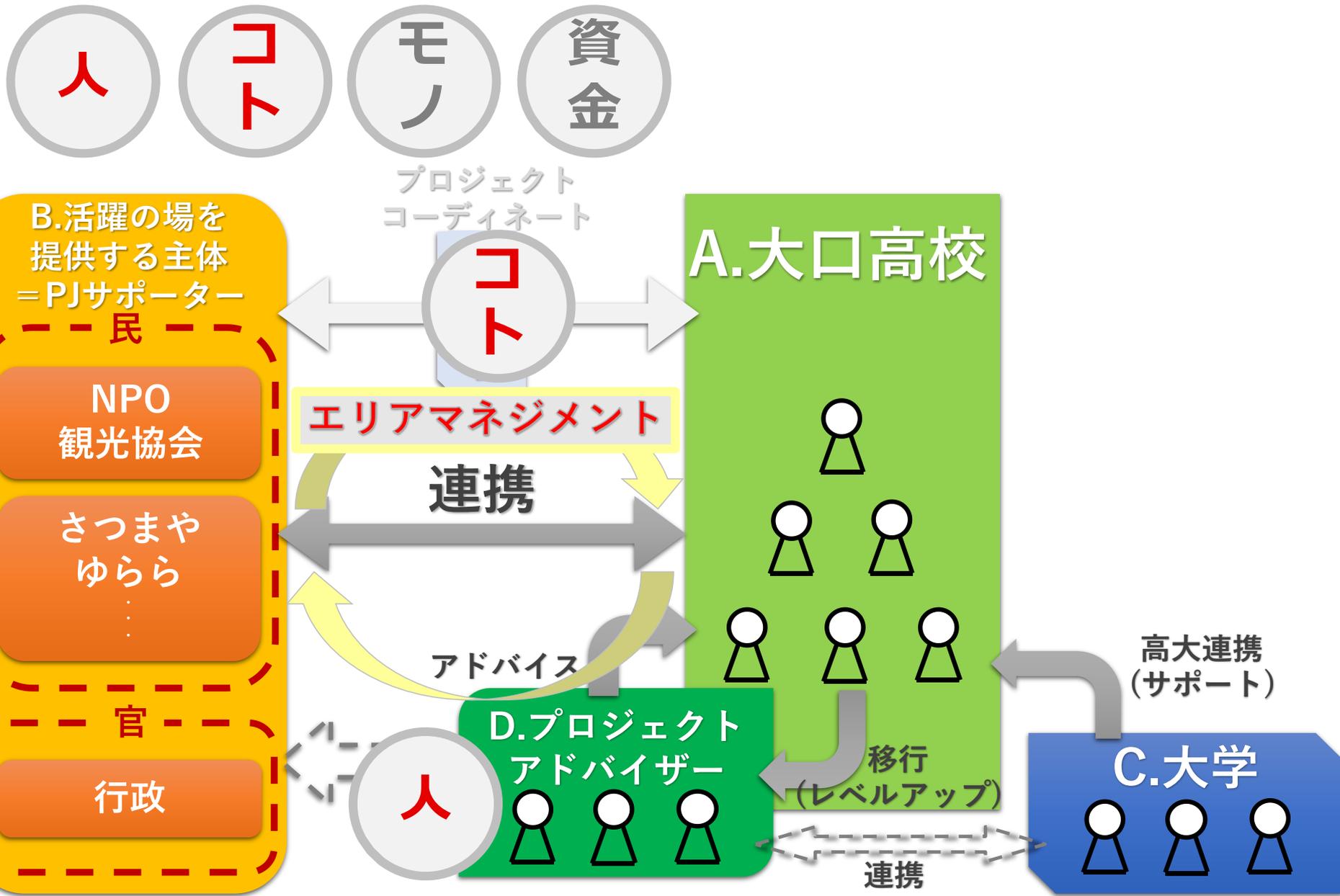


多賀 夕真
2017 年度卒
伊佐市役所

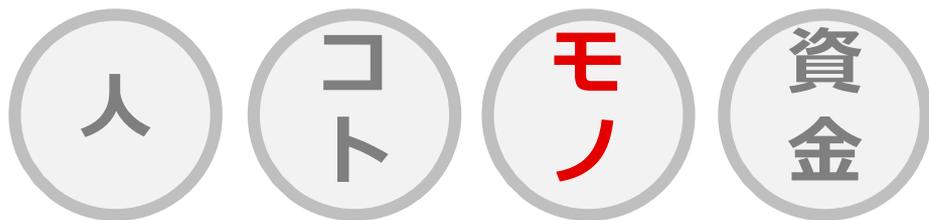
取組みに参加した“プロジェクトOB・OG”の成長と活躍



取組みに参加した“プロジェクトOB・OG”の成長と活躍



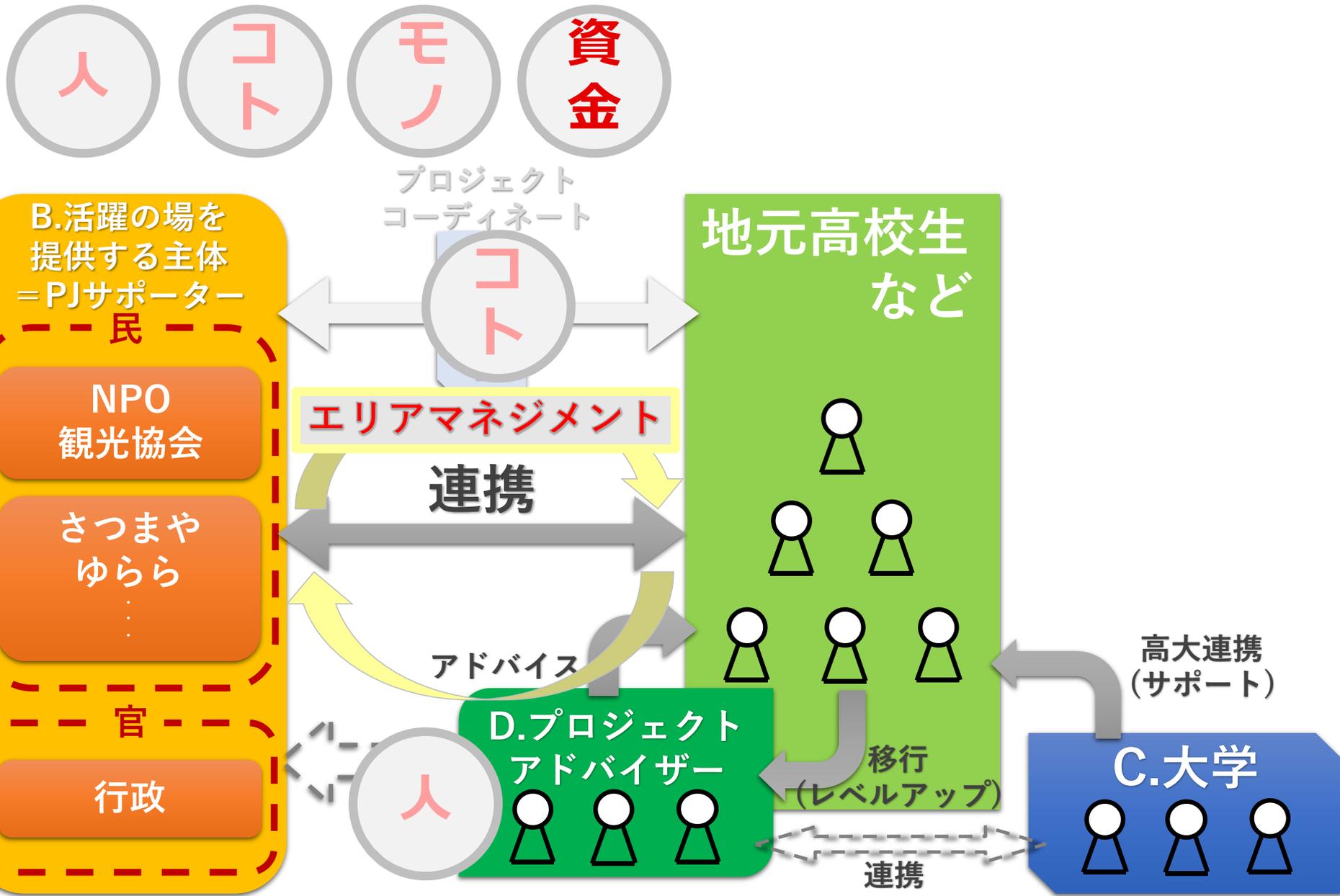
取組みに参加した“プロジェクトOB・OG”の成長と活躍



2017年に大口高校生が描いた
曾木の滝周辺のイメージマップ
(認知地図)



取組みに参加した“プロジェクトOB・OG”の成長と活躍





結びに変えて…
後輩たちの活躍を見守りつつ、
応援して支えてください。